

# 日本学生支援機構奨学金制度について

SANKO

Child

## 日本学生支援機構奨学金制度 (HP:https://www.jasso.go.jp)

(2019年9月現在)

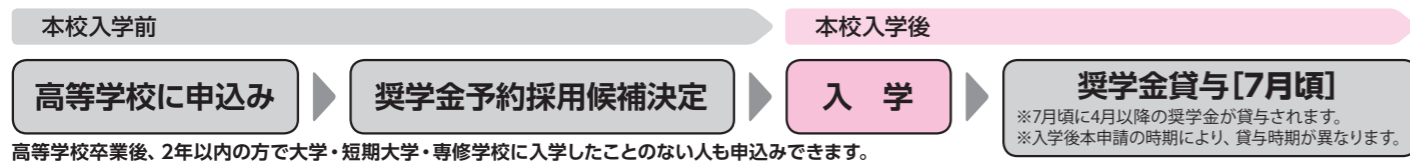
経済的に修学が困難である方を対象として、専門学校在学中に貸与・給付を受けることができる制度です。

奨学金種類 (※1)	給付奨学金	貸与奨学金			
		第一種奨学金 (無利息)		第二種奨学金 (有利息:在学中は無利息、卒業後は年3%を上限とする利息つき)	
		専門学校入学前の予約申込 または入学後の申込	専門学校入学後の申込	専門学校入学前の予約申込	専門学校入学後の申込
学力基準	在学している(在学していた)高等学校に確認してください。	高等学校の1年から申込時までの学習成績の平均値が3.5以上(※2)	高等学校の最終2ヶ年の学習成績が3.2以上(※2)	高等学校の学習成績が平均水準以上であること	高等学校の学習成績が出身校の平均水準以上であること
家計支持者 収入上限額 (例:4人世帯)		給与所得者 747万円程度 給与所得以外 349万円程度	給与所得者 780万円程度 給与所得以外 372万円程度 (※自宅通学の場合)	給与所得者 1,100万円程度 給与所得以外 692万円程度	給与所得者 1,123万円程度 給与所得以外 715万円程度 (※自宅通学の場合)
給付・貸与額	自宅外通学 上限 約91万円/年(※7) 自宅通学 上限 約46万円/年(※7)	自宅外通学 2万円、3万円、4万円、5万円、6万円から希望する月額を選択できます。(※3・※6) 自宅通学 2万円、3万円、4万円、5万3千円から希望する月額を選択できます。(※3・※6)		2万円~12万円(1万円単位)から希望する月額を選択できます。	
入学時特別増額貸与奨学金(一時金)		10万円、20万円、30万円、40万円、50万円から希望する金額を選択できます。		10万円、20万円、30万円、40万円、50万円から希望する金額を選択できます。	
返還期間(※4)		貸与返還開始日から10年程度(※5)		貸与返還開始日から10年程度(※5)	

- ※1 「専門学校入学前の予約申込」については、2020年度採用候補者、「専門学校入学後の申込」については、2020年度在学採用者の基準を参考として記載しています。
- ※2 以下の要件に該当し、学校長から推薦を受けられる人は、評定平均値による学力基準は必要としません。  
・家計支持者(父母。父母がいない場合は代わって家計を支えている人)の住民税の市区町村住民税所得割額が0円である者  
・生活保護受給世帯である者  
・社会的養護を必要とする者(児童養護施設入所者、里親による養育を受けている者等)
- ※3 第一種奨学金の最高月額を利用するには、第一種・第二種併用貸与の家計基準を満たしている必要があります。
- ※4 返還方式および所得や貸与総額によって返還期間は異なります。
- ※5 在学中の返還開始は、願出により在学猶予されます。
- ※6 給付奨学金と第一種奨学金を併用する場合、第一種の貸与月額が制限されます。
- ※7 支援の金額は世帯年収や家族構成により異なります。

### ●在学中の(在学していた)高等学校を通過しての予約申込について

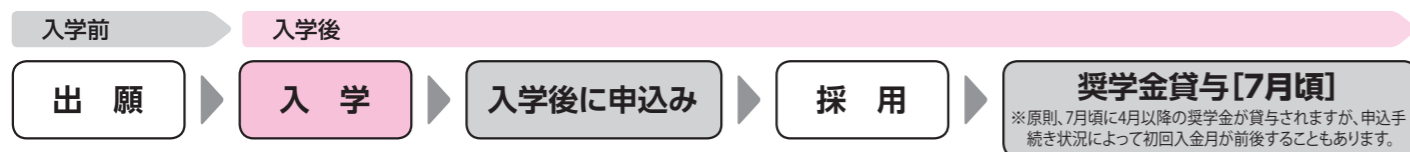
本校に入学する前に、奨学金の予約申込ができますので、在学中の(在学していた)高等学校の奨学金担当の先生にご相談ください。  
※以下は概要となります。詳細は、必ず在学している(在学していた)高等学校に確認してください。  
※本校入学後の進学届ご提出時に、貸与月額を変更することが可能です。



募集時期	申込資格・申込先
在学している(在学していた)高等学校に確認してください。	①2021年3月末に高等学校又は専修学校(高等課程)を卒業する予定の人 申込先:在学している高等学校又は専修学校(高等課程) ②高等学校又は専修学校(高等課程)を卒業後、2年以内の人で、大学・短期大学・専修学校に入学したことがない人 申込先:出身高等学校又は専修学校(高等課程) ③高等学校卒業程度認定試験もしくは大学入学資格検定に合格した人(大学等へ入学したことがある人は除く)、又は科目合格者で機構の定める基準に該当する人、又は出願者(受験手続きを終えた者) 申込先:日本学生支援機構※高卒認定(旧大検)合格者の奨学金予約採用申込に関する問い合わせ TEL.03-6743-6704

### ●専門学校入学後の申込みについて(募集時期は毎年春)

人物及び学業成績優秀で、経済的な理由から修学が困難な人に対して、学校長の推薦を受けた申込者の中から選考の上、日本学生支援機構奨学金が貸与されます。 ※本校から推薦を受けた場合でも、日本学生支援機構において採用されないこともあります。



(奨学金の返還) ・貸与奨学金は貸与されるものですので、貸与終了後必ず返還しなければなりません。  
・返還手続きは本校卒業前に奨学金担当者が説明を行います。

奨学金の制度等に関するお問合せ先: 日本学生支援機構 奨学金相談センター TEL.0570(666)301(ナビダイヤル) 月~金 9:00~20:00(土日、祝日、年末年始を除く)

#### 返還例:日本学生支援機構奨学金制度(第二種)返還例(貸与月数24ヶ月の場合)

貸与月額	30,000円	50,000円	80,000円	100,000円	120,000円	※返還例は、貸与期間や貸与総額によって変わります。 ※年利は2%で計算しています。(上限3%で変動します) ※利率固定方式を選択すると、返還時の利率は貸与終了時から変動しません。 ※利率見直し方式を選択すると、市場の変動により数年に一度変動します。(上限3%)
返還月額	7,355円	9,461円	14,107円	15,574円	17,687円	
返還回数(年数)	108回(9年)	144回(12年)	156回(13年)	180回(15年)	192回(16年)	



三幸学園オリジナルサポート制度

# 三幸学園初期費用軽減&学費分割制度

SANKO

Child

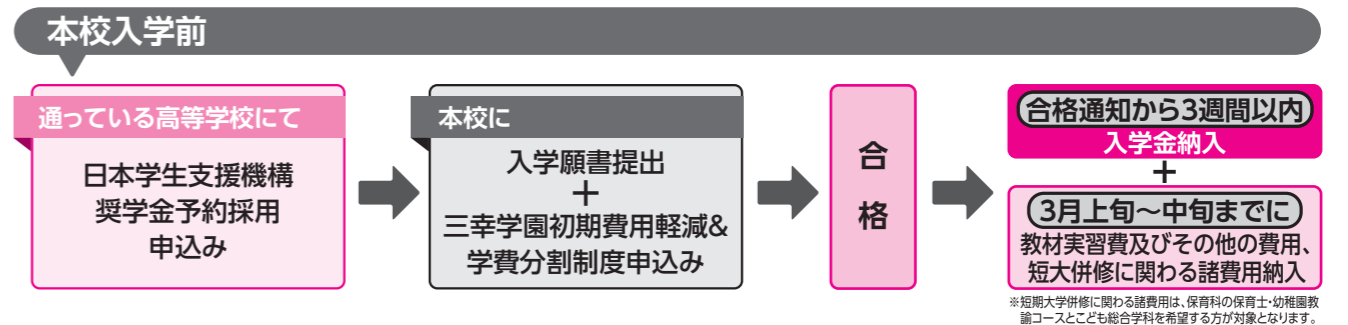
## 制度概要

「日本学生支援機構奨学金制度(8万円以上)」を利用した三幸学園独自の学費サポート制度です。入学手続き時に必要なのは**“入学金10万円のみ”**。さらに3月上旬~中旬までに**“教材実習費及びその他の費用”**“**短期大学併修に関わる諸費用**”<sup>※</sup>を納入いただくことで、授業料+施設設備費は在学期間中に「奨学金」を利用しながら**“毎月8万円ずつ”**分割でお支払いいただけます。

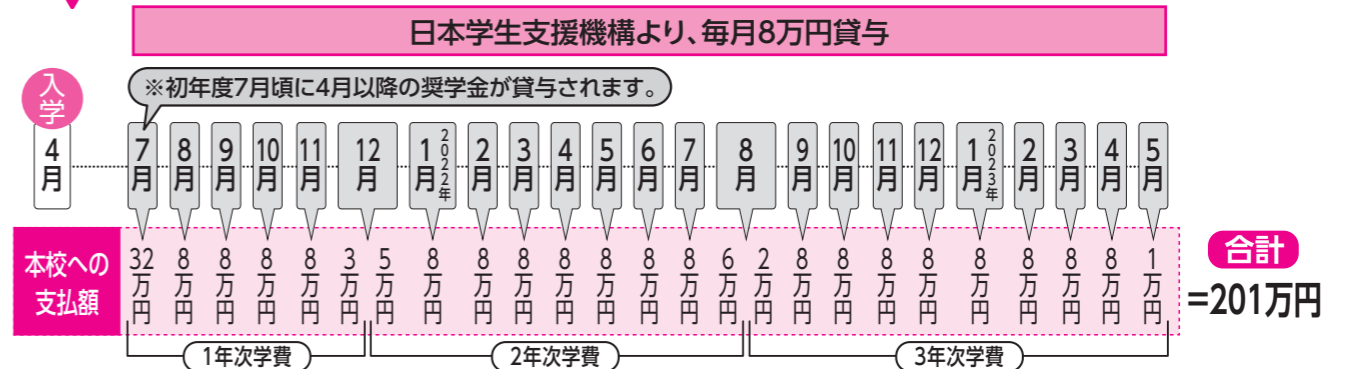
※短期大学併修に関わる諸費用は、保育科の保育士・幼稚園教諭コースとこども総合学科を希望する方が対象となります。

日本学生支援機構奨学金制度利用者の  
**66.1%**が併用  
(2019年入学者本校実績)

## 制度の詳細(仕組み&流れ)



### 本校入学後 (例)こども総合学科の場合



※分割払い終了後、超過納入分は返金いたします。  
※教材実習費及びその他の費用・短期大学併修に関わる諸費用は別途ご納入いただく必要があります。  
※納入時期は、年度により変動がございます。

## 利用申込条件

本校入学前に日本学生支援機構の予約奨学生に以下の内容で採用が決定している。もしくは現在申請中である。

- 「第一種奨学金(無利息)」もしくは「第二種奨学金(有利息)」の月額8万円以上  
※既に「第一種奨学金(無利息)」2~6万円もしくは「第二種奨学金(有利息)」2~7万円で予約申し込みをされている方は、本校入学後の進学届ご提出時に、貸与月額を8万円以上に変更することで、三幸学園初期費用軽減&学費分割制度を利用することができます。
- 「第一種奨学金(無利息)」・「第二種奨学金(有利息)」の組み合わせで合計月額が8万円以上

## 申込方法

- 在籍中の高等学校にて、日本学生支援機構の予約採用に申込み。(高等学校の奨学金担当の先生に相談してください。)
- 「三幸学園初期費用軽減&学費分割制度」の利用申込欄(入学願書裏面(P33))に必要事項を記入の上、日本学生支援機構の「採用候補者決定通知」のコピーを願書に同封してください。  
※予約採用申請中の場合は、結果が通知され次第、「採用候補者決定通知」のコピーを提出してください。